

研究機関：広島大学

研究課題名	表在性非乳頭部十二指腸腫瘍に対する内視鏡切除の治療成績
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科消化器内科学 教授 岡 志郎
研究期間	2022年 月 日(倫理委員会承認後)～2034年12月31日
対象者	2005年5月1日から2030年12月31日の間に、広島大学病院内視鏡診療科において十二指腸腫瘍に対し内視鏡切除を受けられた患者さん。
意義・目的	表在性非乳頭部十二指腸腫瘍に対しては内視鏡切除が行われますが、より安全かつ確実に切除を行うために、具体的にどのような病変に対しどのような切除法を選択するかについては、定まった基準がありません。今回、病変の特徴に応じた適切な切除法を検討するため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は、年齢、性別、既往歴、病変の部位、肉眼型、大きさや、切除法、切除に使用したデバイス、治療時間、病変の一括切除率や偶発症発生率、再発率などです。なお、個人を特定可能な情報は解析に用いませ
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科 教授 岡 志郎
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生じることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5939 広島大学病院 消化器・代謝内科 教授 岡 志郎